

大分県要約筆記サークル

# 陽ざしの会

第 75 号

発行日 平成 26 年 11 月 15 日

発行所 大分県要約筆記サークル

「陽ざしの会」

発行者 森崎 裕香子

事務局 野上 千賀子

(Tel.097-532-6850)

(HP <http://hizasi.web.fc2.com>)

お互いの立場を思いやって

「パソコン」 「パソコン」 「パソコン」 「パソコン」 「パソコン」

## パソコン要約筆記技術講習会

### モバイル機器を使った情報保障

パソコン要約筆記技術習得講習会が、8月31日(日) 10時から、吉備国際大学の佐藤匡(タツ)氏を講師にお迎えし「モバイル機器を使った情報保障」と題して大分県聴覚障害者センターにて行われました。

参加者は28人、うち5人は会員外の方で、手話関係者や要約筆記者養成講座生も参加しました。



「モバイルってよく聞くけど何か分かりますか?」という言葉ではじまって、たくさんの実物を用意して見せてくれるながら、分かりやすく解説していただけました。佐藤氏が顧問のサークル「吉備うさぎ会」や大学内の学生を中心としたボランティア体制作りについてたくさんの具体的な話を伺うこともできました。中でも、高校での授業支援を立ち上げるために、市・社協・高校の校長と各方面の方々と交渉して軌道にのせ、のべ1000時間もの授業支援を実現したことや隣の総社(ソウジャ)市で自主制作した映画「鬼の城(キノジョウ)」の字幕スーパーをこれも市長に自ら提案して製作した等、幅広い視野で、積極的に活動を展開しているのが分かりました。



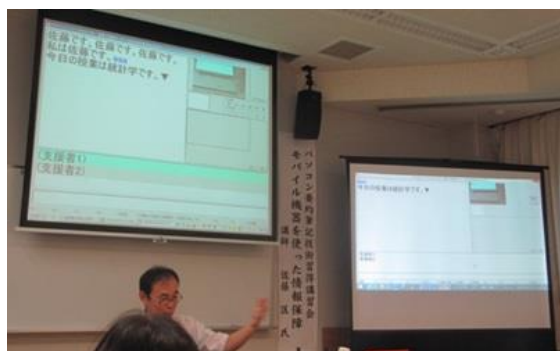
また、現在試行中の、音声認識についての話もあり、その方法のひとつとして、特定話者が自由に話す文では、かなり聞き取りやすいクリアな音質が確保できる環境が必要であり、マイクをつけて授業している教員にも、言葉の誤認識への対応などの負荷がかかる問題点があり、その解決策として、マスク型マイク(防塵マスクのような形状のマイク)で第三者が復唱(respeak)することでかなり実用性をアップ、さらに性能を向上させていきたいということです。

ただし、そのマスク型マイクの需要は限られているため、今のところ自作しているという課題も残っています。どこまで誤認識を許容するのか、できるのか、誤認識でもいい部分は?などの許容範囲の問題など、最先端で、ご苦労なさっている様子を、直に聞くことのできる貴重な機会となりました。午前中の後半ではみっちり、用語解説をしていただきました。パソコンのIPアドレスを設定する時に、まるで呪文のように「TCP/IP V4」を選んで〜と丸覚えしていた、その呪文の意味をひとつずつ手とり足とり教えていただけて、おかげで前より少し、パソコンが身近なものになった気がします。

午前から行っていた用語解説の続きを行い、確認テストを解いていきました。

その後は、

- ・遠隔入力関連ビデオ視聴
- ・閉じた無線LAN（インターネットには接続せずプライベートアドレスだけで接続）によるIPTalkの遠隔入力、無線LANへの接続を2～3人一組で行いました。



- ・遠隔要約筆記支援システム（NECソリューションイノベータ社）のデモを体験する予定でしたが、時間の都合上先生が立ち上げを行い、説明をされました。後、他にもある遠隔入力システムのお話もあり、そのシステムの長所・短所を分かりやすく説明して頂きました。

最後に確認テストの答え合せと、まとめを行い講習会は終了しました。

今回の講習会で、普段疑問に思っていた事（モバイル用語等）が、少しは理解でき、とても為になりました。今後の活動に活かしていきたいと思えます。（堂道）



## ぶんご梅



磯田 ひろみ

私の地元、別府は海も山も美しく、町のあちらこちらから温泉の湯気が立ち上っています。その別府の絵本「べつぶものがたり」を知人よりいただき、別府にはたくさんさんの民話があることをあらためて知りました。

鉄輪を開いた一遍上人、古今無双の弓の名人の源為朝、忠義の武将吉弘統幸、アイデアとおもてなしの精神を大切にした油屋熊八、海に沈んだ瓜生島の伝説、また歌人の柳原白蓮の伊藤別荘（赤胴御殿）は自宅も近くで、子どもの頃庭に入ったこともあり、懐かしくあたたかい描写の絵本に引き込まれてしまいました。

自身の想いも織りませながら、「べつぶ」の歴史をあらためて興味を持つきっかけとなりました。皆さんも地元の物語を紡いでみたらいかがでしょう。

ぶんご梅は創刊以来続いている会員のエッセーです。

# 「大分県災害時派遣専門ボランティア登録制度」

## 検討会議(第2回)開催される

大分県社会福祉協議会が主催し、大分県災害ボランティア連絡協議会の各委員（当会も委員）の出席のもと、「大分県災害時専門ボランティア登録制度要綱(案)」の検討会議が、去る10月3日開催された。

各地域における災害時の「ボランティアセンター」の運営は、当該地域の社会福祉協議会が中心に行われている。また、災害時において災害地の「災害ボランティアセンター」を支援する、社会福祉協議会間のネットワークができており、各被災地の要請により、各県ごとに「災害派遣専門ボランティア」を派遣することになっている。

従って、大分県社会福祉協議会においても、「大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会」会員を中心に、「災害時派遣専門ボランティア」を事前に登録してもらい、被災地からの要請があるときには直ちに対応できるようにする体制を整えるため、本登録制度の設置が検討されることになった。

被災地における聴覚障がい者については、「手話通訳・要約筆記ボランティア登録分野」が設けられ、要請により、ボランティア活動をすることとなる。

なお、登録の仕方、今後の運営等については、別途具体的な説明が予定されている。（望月）



陽だまりの歩み

⑬

第6巻 (2022)

児玉 幸代

前号にも書きましたが、私は、陽ざしの会に対する会員皆さんの思いを嬉しく受けとめ、平成四年の総会で会の運営組織として、会長。事務局。研修。派遣会計。広報の役員を置くことを提案し承認されたので、早速、係りを決めて活動を始めました。

各部ともに、真剣に取り組みその実績は揚がりましたが、私は更に、各係りとの連絡を密にしたい。と思い再度役員会を開催して、それぞれの係りからの目標を明らかにし、今後の活動計画などを話し合い、互いに連絡を取り合って、会の活性化を約束しました。

その後の皆さんは、各自、活動の場がはっきりしたのか、生き生きとした姿が見られました。

本年度の活動の内容を次にまとめてみますと、

① 派遣活動としては、十月に「第三六回大分県社会福祉大会をはじめ各年の社会福祉大会、大分難聴の役員会、講演会など、一二期の派遣。

② 研修部では、学習計画表の作成。月例会の内容事項、学習会の日時。内容など詳しく提示。

③ 平成四年度の養成講座を実施。終了者初級二七名。中級六名。その中の一二名が入会する。

受講者の声として「講座内容が充実していた。難しいが入会して頑張ってみよう。」

本年度は、私たち会員にとって多忙であったが、有意義な日々を過ごす事ができた。と自負する一年でした。

## 手書き・パソコン研修部

# 合同学習会



10月18日(土)の学習会は、今年12月、創立10周年を迎える、中津要約筆記「まなざし」から、加島友子さん、瀬口伴子さんをお招きしての合同学習会でした。

月2回第二第四土曜日の学習会では、書画カメラ、プロジェクターを使っての練習、字を打つ練習、聞きだめをして打つ練習などを行い、事務局だよりを月1回発行、また、DVDに字幕をつける要望をする活動などを行っているということでした。



難聴者、人工内耳装用者からお話を聞く機会を設け、クリスマス会など様々な催しを通して、難聴者の方との交流を行っているなど話していただきました。

活動人数も少なく、派遣の依頼も少ない為、なかなか人が続かない現状があると言われていました。



陽ざしの会からは、平野、朝山両部長が、パワーポイントを使って、手書き・パソコン要約筆記の実践を行いながら活動の説明をしていきました。



その後は、茶話会という形で、皆さんとお茶を飲みながら、要約筆記について、活発な意見交換を行いました。

今回の学習会で、他のサークルの活動状況や、色んな方の意見が聞けて、とても充実した学習会でした。

(堂道)



## 平成26年度 第1回登録要約筆記者研修会

平成26年7月20日（日）、平成26年度第1回登録要約筆記者研修会が大分県聴覚障害者センター研修室にて午前10時から午後3時まで開催されました。「陽ざしの会」19名、佐伯市要約筆記サークル「陽だまりの会」4名、合計23名の参加でした。

午前中は、平成25年度の県内意思疎通支援事業の状況と実施、派遣に関わる留意点、コミュニケーション支援担当者研修会の感想、派遣報告からの事例検討などを中心に進行されました。事例検討では、手書き・野上千賀子さん、パソコン・平野美佐子さんを講師に、手書き・パソコンに共通する疑問をテーマに話し合いを行いました。午後からは手書き・パソコンとグループに別れ、それぞれ話し合うべきテーマについて学習会を行いました。



今回の研修会では、大分県聴覚障害者協会の要約筆記派遣担当である岩田知恵さんが他県で開催されたコミュニケーション支援担当者研修会に参加された時の感想を聞かせて下さったことが勉強になりました。他県の要約筆記については触れる機会がなかなかないので、貴重なお話が聞けたと思います。要約筆記者というものは通訳者であり、技術も必要であることは間違いないのですが、能力を活かしつつ、利用者さんの立場になって物事を考えられる要約筆記者でありたいと、心から思いました。（安藤）

### 研修会に参加して・・・久松

今回は進行の中でノートテイクをしました。その後話し合いをテーマにして共通事項、手書き、パソコンの内容にテーマ分けしてあり共通事項の話し合いの後は手書きとパソコンで分かれて話し合いしました。

共通事項ではノートテイク中の疑問などが主に含まれていて「生の声」という感じで現場の責任や緊張感を感じることができました。その後手書きでは機器の設置の時の問題点や対応について、作業中の指示や伝言は声に出さずにメモや合図でする、歌や詩の二人書きの練習も必要など今後の筆記者の在り方や知識、技術力向上に向けての意見がありました。研修の進行中にノートテイクをしたのはいい経験に成りました。



### 研修会に参加して 藤井 令子

初めて参加させていただきました。昨年度の要約筆記者養成講座を修了しただけで一度も派遣の経験のない私には、豊富な現場経験のある皆さんからの意見はすべてが勉強になりました。

要約筆記がまだまだ一般には周知されていない現状で、どうするのが利用者にとってそして要約筆記者にとってより望ましいことなのか。利用者個人のニーズに応えようとすればするほど、実際の現場では対応に悩むことも多いのだろうと感じました。利用者の利益と要約筆記という制度の充実のために原則を確認しておくことの必要性も感じました。皆さんのお役に立てるようになるにはまだまだ遠い道のりですが少しずつ勉強していきたいと思えます。

# 秋の交流会 バスハイク



10月26日、難聴者協会6名、夢サラダ4名、人工内耳友の会[ACITA]大分支部6名と、会員21名の参加で、バスハイク交流会が開かれました。

今年度は三光コスモス園から羅漢寺、かかしワールドをまわる行程、夢サラダ、人工内耳友の会[ACITA]のみなさんも加わり、とても楽しい交流会となりました。

朝8時半大分駅集合出発、途中4か所での乗車で全員がそろったところで、森崎会長の「おおいに楽しみましょう。」と挨拶、企画部久保田部長の行程の説明と挨拶があり、小野さんの軽快な司会進行のもと、バスは最初の目的地「三光コスモス園」へ向かいました。

園では、満開の黄花コスモス「ブライトライト」が迎えてくれました。1250万本のコスモス、きれいでしたね。記念写真をパチリ。台風の影響で倒れていたコスモスも太陽に向かって咲いていました。



次は曹洞宗の寺院で、日本三大五百羅漢の一つ、3770体の石仏が並ぶ羅漢寺へ。ボランティアガイドさんのお話をノートテイク。家族や親せきに似たお顔が見つかるとか。リフトで登ると聞いて怖かったのですが、眺めもよく楽しめました。境内には「しゃもじ」で願い事を救う(すくう)ということがたくさんしゃもじが打ちつけられていました。かなわぬ願いはないということ、今度行った時には、お願いと、ゆっくりお庭拝見をしてみたいですね。





時間と駐車場の関係で「かかしワールド」は車窓からとなりましたが「え？本物？」と今にも動きそうなかかしを見つけ盛り上がりました。帰路の車中では難聴協の保原さんから計画のすばらしさを感謝していただくとともに「来年もよろしく」とのお言葉をいただきました。企画部の皆さん、本当にありがとうございました。



「夢サラダ」からご参加の藤谷千賀子さまよりご感想をいただきました。

秋の交流会に初めて参加して感じたことはノートテイクが出来るように皆さん準備してくれて、耳の聞こえの程度によって、さまざまな対応を心がけてくれている様子に頭が下がりました。

三光コスモス園での記念写真、青の洞門を見ながらの昼食会場レストハウス洞門、羅漢寺でリフトに乗って案内ガイドの説明をノートテイクしてくれて、本当に解りやすかったです。ここちよい秋風に吹かれて散策し、気分も軽く、大変楽しく、有意義な1日になりました。陽ざしの会の皆様にお世話になり有難うございました。



## 要約筆記の勉強部屋 Part VII

～筆子の覚書～



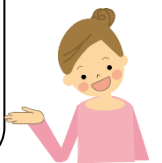
今年度の「全国統一要約筆記者認定試験」の日程が、2015年2月22日に決定しました。よ～く考えてみたら、あと3カ月・・・(汗)。皆さん、勉強は進んでいますか？さて、今回の勉強部屋では「障害者総合支援法」を取り上げます。

？



そもそも障害者総合支援法って・・・何？

平成25年4月1日に施行された法律です。第一条に目的が記載されており、その概要は以下の通りです。  
障害者及び障害児が基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重され、地域社会における共生の実現に向けて、福祉サービスの充実など日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、障害者自立支援法を改正したものです。



### 改正のポイントを押さえましょう

- 平成25年4月の改正
- ◎障害者の範囲に難病が追加  
※対象は国が定める130疾病
  - ◎地域移行支援の対象が拡大
  - ◎サービス基盤の計画的整備

- 平成26年4月の改正
- ◎障害支援区分の創設
  - ◎重度訪問介護の対象拡大
  - ◎ケアホームとグループホームの一元化



今までは、支援の対象を身体障害者、知的障害者、発達障害を含む精神障害者に限定されていて、難病の方々は「制度の谷間」と言われ支援の対象になっていなかったんだ。今後は、国が定めた130の難病だけでなく、もっともっとたくさんの難病患者も対象にして欲しいね。

これまで、知的障害者や精神障害者は、特性に応じた適正な認定がされてなかったんだって。特に、コンピュータによる一次判定で低く判定されていたから、認定調査項目を見直したり、コンピュータの新しい判定式を構築しなおしたいよ。



## 会員紹介②・・・藤井 令子さん



何となく昨年度の養成講座に申し込み、予想をはるかに超える要約筆記の難しさとおほんのちょっぴりのおもしろさを感じています。なかなかサークルに参加できないのですがゆっくり少しずつ学んでいきたいと思っています。物忘れがひどく（若い頃からです。年齢のせいではありません^\_^;) パソコン要約筆記なのにパソコンが苦手というなんとも致命的な欠点がありますが、みなさん、どうぞよろしくお願ひいたします。毎日、ミニチュアシュナウザーに癒やしとパワーをもらっています。

### ブログ

☆ブログに寄せられた情報をダイジェストで紹介する  
新しいコーナーです！ ～「ガリレオ」風にタイトル付けてみました♪～

8/3 ラベンダーさんの投稿「要約筆記の報酬について」

『三重パソコン要約筆記サークルことのは』のサイトで気になることを見つけました…  
要約筆記の報酬について、ご存知でしたか？ 国税庁「要約筆記の報酬」参照…

10/12 シクラメンさんの投稿「消費生活展」  
10月9日にNHKニュースでなんと会員№.32のしさんが映っていた。よく見ると、ガレリア竹町で行われている消費生活展でエコバッグ作りを教えてくれるとのこと。さっそく…

6/28 くまだもんさんの投稿「漢字検定試験がありました」  
先週漢字検定をうけてみました。うけたレベルは高校在学程度の準2級。会場は…  
小学低学年から80代くらいの人まで100人くらいが受験。暑い小学生だなぁなんて考えながら…

7/6 MESSIさんのコメント「すてき！」  
ハーブ畑におじゃまして癒されたいです。我が家ではバラの2番花が咲き始めました。

8/16 なさんのコメント「小国の夏」  
実家が鍋ヶ滝、杖立、黒川温泉の近くです。14日、夏祭りがありました。  
フチ花火の後は抽選会です。うちわ1本300円に抽選番号が入っています…  
ちなみに特等は5万円の旅行券。来年はうちわ2本買うとするか！

9/20 ダーリンの投稿「学習会☆れぽーと」  
…ちょっと新鮮な情報は、10/1(水)21:00～、日テレで放送予定のドラマのシーンに、  
中途失聴の容疑者の取り調べシーンで手書き要約筆記が演出に盛り込まれて…  
…シクラメンさんがやまびーファンとは知りませんでしたの私もクソソク君の隠れファン…

☆さて問題です。この中で、ブログにはなかった一文はどれでしょう？(=ω=)  
…正解は、次号の広報誌で！ いえいえ、ほんのお遊びです(\*ω\*)ドモドモ～

朝木

赤い羽根共同募金会へ  
10月27日、陽ざしの  
会より5,479円を森崎  
会長が納めましたこと  
をご報告いたします。  
会員の皆様のご協力あ  
りがとうございました。

編集後記・・・サツマイモが野菜コーナーに並んでいます。例年なら我が家の畑にも実っているはずなのですが、今年は植え込む時期を逸してしまい残念ながら自家製を食べることができません。また来年です。(只今玉ねぎを植え込み中)  
バスハイクの時に、おいしい大学いもの作り方教えてもらいました。乱切り、又は拍子切り(おすすり)に切ったサツマイモを油で1回目は160℃、2回目は180℃できつね色に2度揚げ。蜂蜜と砂糖でお好みに絡めて黒ゴマを。お試しあれ。 三重野